

読書のまち三郷だより

No.31
平成24年
9月
三郷市教育委員会

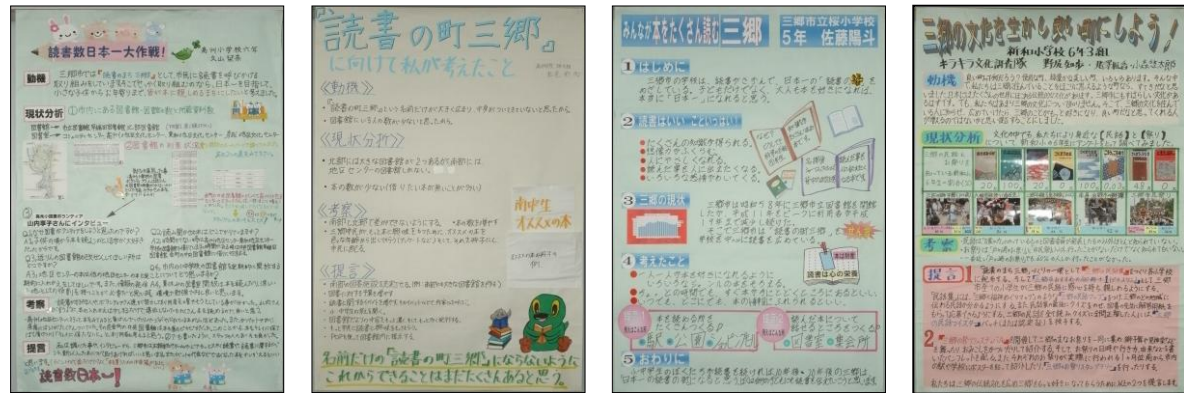
8月は猛暑が続きましたが、朝夕はほんの少し涼しくなり、秋が近づいてきているようにも感じます。もう少し秋の気配が感じられるようになった時、「秋の七草」を探しにでかけてみませんか。『言葉の力』の低学年用には「あきのななくさ」が絵とともに掲載されています。(はぎ・ききょう・おばな・なでしこ・おみなえし・くず・ふじばかま)



よりよい読書のまちをめざして

* 三郷市へ提言 *

三郷学フォーラムが第5回目を迎えました。その中で昨年度より政策提言コンペが実施がされています。今回小学生や中学生によるパネルを活用した政策提言の中に「読書のまち三郷づくり」の内容で提言がありましたので紹介します。さまざまところで「読書のまち三郷」が意識され、市民全体でつくりあげようとする意欲が高まっています。



小・中学生のみなさんは「本を読める場所をたくさんつくろう。(駅・公園・ショッピングモール内)」「読んだ本について話せる場所をつくろう。(図書室や集会室)」「広報やホームページで本のことをとりあげよう」「南部の図書施設を充実させよう」「図書予算を増やそう」「三郷の民話集を作成しよう」など提言をし、「名前だけの『読書のまち三郷』にならないように、これからできることは、たくさんあると思います」と訴えています。自分のことだけでなく市全体の読書について考えていく姿勢が素晴らしいです。「読書のまち三郷」の未来は明るいですね。

うちどく推進で家族の絆を培おう！

1冊の本をおたがい読み聞かせをしたあと、いっしょに記録カードを書きました。

— 「金子みすゞ詩集」 高州小 —

お母さんの好きな詩はとても幸せそうな詩でした。金子みすゞさんの詩はとてもすてきな詩ばかりです。(娘)

おたがい大好きな詩を読み聞かせることで、娘の心の中をみられたような気がしました。(母)



〈うちどく特設コーナー・彦郷小〉

今年も夏の学校図書館開放充実

図書館開放 約8~10日間！



・お話し会や工作教室などイベントもたくさんありました！
・夏休みだからこそゆったりとした時間も魅力でした。
(写真：後谷小・高州東小・吹上小・彦糸小)

8/6 市立図書館で“科学あそび”を開催



8月6日 市立図書館で「科学あそび」が開催されました。テーマは石けんづくりです。約30人の子どもたちが参加し、思い思いの形の石けんづくりを楽しみました。また、早稲田図書館では牛乳パックからの紙づくり、北部図書館では点字体験講座が開催されました。なお、市立図書館では、9月23日にも「科学あそび」が開催予定です。その他にもいろいろな催しものがあります。図書館のホームページをご覧ください。

★“ららほっとみさと”でおはなし会★

8月のお話し会は立花小“ぶっくれんど”が担当。夏休みでのんびりとした雰囲気の中、小さい子どもたちがたくさん集まりました。繰り返し部分を一緒に大きな声をだして言ったり「もう一回」とアンコールをしたり、時間を延長しても集中してとてもよく聞いていました。

《学校図書館活用研修会》

8月23日には小中学校の先生方を対象に学校図書館活用研修会が旧保健センターで開催されました。探究型学習や新聞活用を推進するために読書活動支援員を講師として、2時間半集中して学び合いました。学校図書館を授業で活用することが広がっていくことでしょう。



《学校図書館の特設コーナー紹介》



『言葉の力』と関連本 (北中)



地図と本の 掲示に分類 表記を明示 (高州小)



今回は 9月15日(土)

子ども司書養成講座で
学習中の小学生が読み聞かせをします